

第4回 川越市農業振興審議会 会議要旨

1 開催日時 平成30年11月8日(木) 午前10時～11時

2 開催場所 川越市役所 本庁舎4階 4A会議室

3 出席者

(委員)

平口嘉典、石川秀夫、伊藤匡美、竹澤穰治、田島玲子、水村政巳、内田光夫、
小泉晃一、田島光恵、柏井喜代恵、桑真美子、

(川越市)

市長 川合善明

4 欠席者

小倉元司

5 事務局職員

産業観光部長 田中三喜雄

産業観光部副部長兼農政課長 相川満

小野寺雅樹、矢野雄一、小川覚一郎、持田雅之、関口萌子

6 会議の概要

1 開会

2 会長挨拶

- ・本日はお集まりいただき感謝申し上げたい。第4回目の審議会であり、答申を行う。市長に我々の思いを伝える場なので、心を一つにできるようご協力をお願い申し上げます。

3 議題

(1) 答申について

(事務局より説明)

(事務局)

- ・これより、川越市農業振興審議会平口会長より川合市長に川越市農業振興計画の策定に関する答申書をお渡ししていただく。

(平口会長)

川越市長 川合善明殿

川越市農業振興計画の策定に関する事項について（答申）

平成30年10月1日付川農発第572号をもって諮問のあった標記の件について、下記の意見を添えて、別添のとおり答申します。

平成30年11月8日

川越市農業振興審議会会長 平口嘉典

（事務局）

- ・それでは、平口会長及び川合市長から一言ずつご挨拶をお願いします。

（平口会長）

- ・答申に当たり、審議会としての意見について申し上げます。答申書を読み上げさせていただきます。

（答申書の読み上げ）

（川合市長）

本日は川越市農業振興計画策定に関する答申をいただき、感謝申し上げます。また、平口会長を始め委員の皆様にはご多忙中、熱意を持って審議していただいたことに深くお礼申し上げます。

本市の農業振興においては、担い手の育成や農地の集積、農業基盤の整備、農産物のブランド化、グリーンツーリズムの推進など、取り組むべき課題は多岐に渡っているが、本市農業を将来につなげ発展させていくため、積極的に施策を講じて行く必要があると考えている。また、2年後の東京オリンピックに向けて、本市にも多くの方が訪れると予想しているが、そのような方々をおもてなしする重要な要素の一つとして「食」があると考えている。新鮮でおいしい川越産農産物を食材とした料理や土産物などを多くの皆様に提供していくことが川越の魅力の向上につながるものと考えている。

このような状況のもと、本市の農業、農地を継続していくための指針となる川越市農業振興計画については、皆様からいただいた答申を踏まえ、本年度中に策定させていただきたいと考えている。委員の皆様には今後とも本市農業の活性化に向けて、ご助力、ご教示をくださるよう、よろしく願い申し上げます。

（2） その他

（事務局）

- ・平口会長を始め、委員の皆様には1ヶ月強という非常にタイトなスケジュールの中、ご審議いただき、誠に感謝申し上げます。本日、市長へ答申していただくことができました。今後、答申を踏まえ、本年度中に計画を策定していきたいと考えている。

- ・最後に皆様に本市農業の振興に向けて、一言ずつご意見をいただきたい。次の農業振興計画の期間中には、グリーンツーリズムの拠点施設として「蔵 in ガルテン川越」がオープンするほか、2020年の東京オリンピックや2022年の市制施行100周年もある。これらの大規模事業や記念行事を契機とした農業の活性化も図っていきたいと考えているので、皆様からアドバイスをいただきたいと思う。

(委員)

- ・大変素晴らしい答申ができたので、これをもとに川越市の農業がますます発展していくとよい。答申書にもあるように、川越市は小規模農家が大多数なので、その点を踏まえ農業振興を図っていただけるとよいと思う。答申書には食育など、全てのことが入っているので、これを基礎に農業振興ができると思う。

(委員)

- ・素晴らしい答申ができた。土日などテレビを見ていると、毎週のように川越が取り上げられるが、一番街周辺がほとんどである。農業にもその光を出来るだけ早めに当てて、「オール川越」で勝負できるようになると、一番街だけではない多面性がクローズアップされてより強い川越になれると思う。地元の方とお話するとマイナスの話をする人が多いが、川越は周囲の市町村からうらやましがられる程地域資源に恵まれていると思う。また、小・中・高校等から育まれた強い人脈もある。そのようなものを全て活用すると、今よりもさらによい川越になると思う。
- ・私自身もマーケティングという自分の専門分野を活用して、全力で川越を応援していきたい。

(委員)

- ・短期間だったが、委員の皆様と一緒に審議し、大変勉強になった。また、産業観光部長、農政課の方々にもご尽力いただき、感謝申し上げます。今後も商工会議所という立場で様々なお手伝いをさせていただきたい。商工会議所は地域の経済団体であり、6次産業化、農商工連携というテーマで従来から取り組んでいる。JAいるま野さんとは、会員になっていただいたことをきっかけに2年程度前から協力させていただいている。川越には豊富な農業資源があるので、地域の経済に取り込んでいただけるとよい。
- ・先程グリーンツーリズムや後継者の問題などの話があったが、商工会議所のなかでも観光振興や事業承継などに取り組んでいるので、活用していただけるとありがたい。
- ・これから策定していただく農業振興計画は実効性のある計画にしていただき、川越の発展につなげていただきたい。

(委員)

- ・農業には直接関係のない立場で参加したが、本審議会に参加してから農業への関心が高まり、ラジオを聴いたり、新聞の切り抜きを一生懸命集めたりして勉強している。今朝も、全国でブランド米は785あるが、コメを食べる人口が減少しているというニュースに触れた。
- ・後継者の問題が先程も出たが、農業高校の活動が新聞に取り上げられていた。それは、農業に若者が入ってくれるよう、全国の農業高校からやる気のある15のグループに30万円支給して3年間活動してもらい、その結果、よいグループにはさらに50万円支給する、というものだった。このように、後継者の問題も、具体的に何か出さないとうまくいかないのではないかと思った。
- ・様々な勉強をさせていただき、感謝申し上げます。

(委員)

- ・大変立派な答申書ができて、感謝申し上げます。答申書には巨峰のことも記載されている。一日でも長く、一人でも多くの方に巨峰を作っていただいて川越の巨峰を広めていただきたい。

(委員)

- ・答申は限られた時間の中で中身の濃いものができたと思う。せっかく素晴らしいものができたので、スピード感を持って目に見える形で成果が見えるようになるとうい。私も買い支えなどによってお手伝いをしていきたい。
- ・声を上げれば市の取組に反映できるということを実感できた。

(委員)

- ・本審議会では様々なスペシャリストの皆様とお話することができ、これまで知らなかった視点のお話やディスカッション、情報交換ができた。
- ・私は看護師の視点から、健康や野菜の栄養素、安心・安全で誰もが食べられるという観点で農業振興計画にお役に立てればよいと思い、発言させていただいた。観光客だけでなく、市民も子供からお年寄りまでが一緒になって楽しめるような農業振興計画になるとよいと思う。

(委員)

- ・私は農業技師の公務員になってから農林畑を歩いている。川越以外もいくつか見てきたが、川越は都市近郊でありながらこれだけ農地があり、全国にも産地の名前が轟いている所はあまりない。また、福原の畑地帯などは40代等の若い後継者がそろっており、少ないながらも農業後継者が確実にいる。このような地域は全国的にも恵まれていると思う。さらに次の世代の後継者がいるかどうかは不透明だが、計画の中で「儲かる農業」を打ち出している。

農政課には、「儲かる農業」を实践できるように川越市の農業をバックアップしていただきたい。

- ・ 農業行政は日々変わっており、次の計画の9年間はその変化に対応していつて農業振興が長く続くようにしていただきたい。

(委員)

- ・ 本審議会では様々な意見交換ができ、勉強になった。現場の意見は届いているようで届いていないということもわかった。4Hクラブの会長として、20～30歳代の若い農業者に審議会に出た意見を伝えていきたい。
- ・ 答申にある「小さな農業」というのは、私達若手の農業者にとっても年数が浅いという意味で「小さな農業」だと思う。それを今後「儲かる農業」につなげていきたい。

(委員)

- ・ 2～3日前の新聞で、羽生市では24haの水田を埋め立てて農業公園を造るという記事があった。後継者が少ないので、市が中心となって水田を埋め立て、畑や果樹園にしたり、温室を創ったりして人を呼び込もうということだそう。事業協力者の募集について、11月は市内の農業者等から、12月は市外からも募集していく予定だそう。
- ・ 川越では「蔵 in ガルテン川越」という事業計画があるが、大勢の市民や観光客に立ち寄ってもらい、活気あふれる施設になればよいと思う。
- ・ 農家も収入が増えれば後継者が増えると思う。他産業並みに収入があれば黙っていても後継者は増えると思っている。畜産や花き、ハウス園芸などは後継者が育っている。米単作ではほとんど後継者がいない。私は川越市の農業委員の一人として、年々遊休農地が増えているのを見ている。また、荒川右岸用排水土地改良区の理事長をして2年目だが、川越農林振興センターのご指導をいただきながら、多面的機能支払交付金制度を活用し、芳野、古谷、南古谷の広域的な事業を行い、水路の草刈りや泥上げなどをきちんとやってきた。今後は遊休農地の解消にも皆さんで取り組んでいきたいと思う。先は長いが一生懸命やっていきたい。

(平口会長)

- ・ 会長という大役を務めさせていただいたが、皆様から様々なご意見を多数出していただけたので、答申書をまとめることができ、感謝申し上げます。大学教員という立場で、学生と一緒にこの計画に沿う形で取り組んでいきたい。
- ・ 都市近郊の市町村をみると川越と同じような問題を抱えており、そこから脱却できないところがあると思う。ここで川越が一步出ると都市近郊のモデルとなり、他市町村から視察に来るようになる。農業で賑わいのある川越がこれから実現するとよい。私も委員の皆様と一緒に川越農業を盛り上げていき

たい。

(事務局)

- ・川越市農業振興計画策定の今後のスケジュールについてご説明させていただく。11月下旬までにいただいた答申を計画に反映させて計画原案とし、12月中旬に庁内で計画原案としての決定を目指したい。その後、1月下旬～2月下旬にかけてパブリックコメントを募集し、3月上旬までにパブリックコメントを計画原案に反映させ、3月中に計画を策定したい。計画策定後は印刷して公表する。印刷ができればすぐに委員の皆様へ配布したい。
- ・本審議会委員の任期は2年間であり、平成31年度の審議会は5月頃に第1回を開催し、現計画の最終的な検証と新しい計画のご説明をしたい。その後冬頃に第2回を開催し、計画の進捗をご報告したい。
- ・PRとしてチラシを3種類配布させていただいた。11月23日に開催する農業ふれあいセンターまつり及び川越市場まつり、12月2日に開催されるファーマーズマーケットのチラシである。審議会の中でも市民との交流やマルシェなどのご意見いただいている。年末に向けてこのような催しが開催されるので、参考までに配布させていただいている。

4 閉会

委員の皆様には4回に渡りご審議をいただき、感謝申し上げます。以上を持って第4回川越市農業振興審議会を終了する。